

大阪経済の情勢

(2019年3月指標を中心に)

2019年5月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチ&デザインセンター)

「大阪経済は、一部に弱い動きがみられるが、緩やかに拡大している」

需要面では、個人消費は、やや弱含んでいる。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額(近畿)、家電販売額は増加、新車販売台数、家計消費支出(近畿;2月)は減少。投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資は増加、非居住用建設投資は減少。公共投資は減少。輸出は、弱含んでいる。輸出額は増加。主要国向けでは、アジア向け・中国向けで減少。輸入額は減少。

供給面では、生産動向は、弱い動きが続く。大阪府(2月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(2月)は上昇、全国の生産(3月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。雇用は、改善している。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率は前月から横ばい、新規求人倍率は低下。所定外労働時間(2月)は低下。

先行きでは、所得環境の改善状況、海外経済の動向等に引き続き注意が必要。

		需要							
		消費				投資		貿易・観光	
	総合 一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(近畿)	家電販売 (大阪)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関空外国人 旅客
3月		↗	↗	↗	↘	↗	↘	↘	↗
2月	↗	↗	↗	↘	↗	↘	↗	↘	↗

		供給				
		生産		倒産	雇用	
	生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)	
3月		↘	↗	↗	↗	↘
2月	↘	↗	↘	↗	↗	↗

※前年同月と比較し、上向きの矢印は「景況改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。

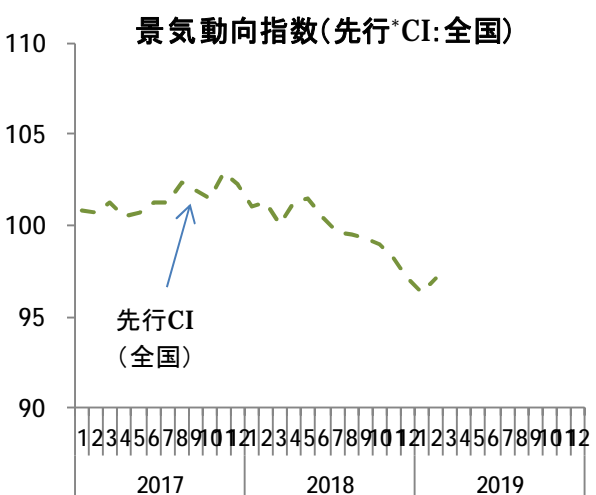
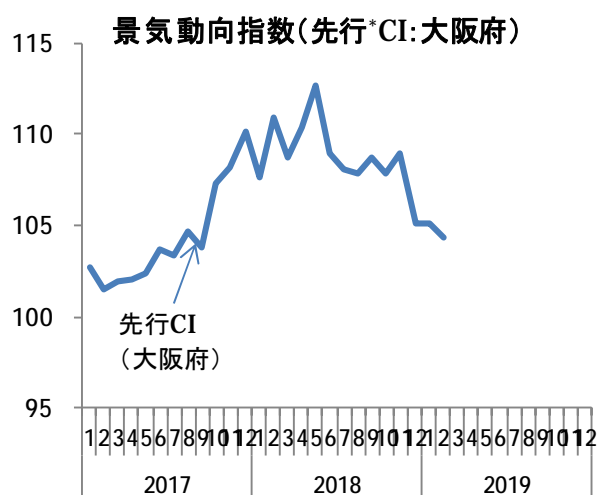
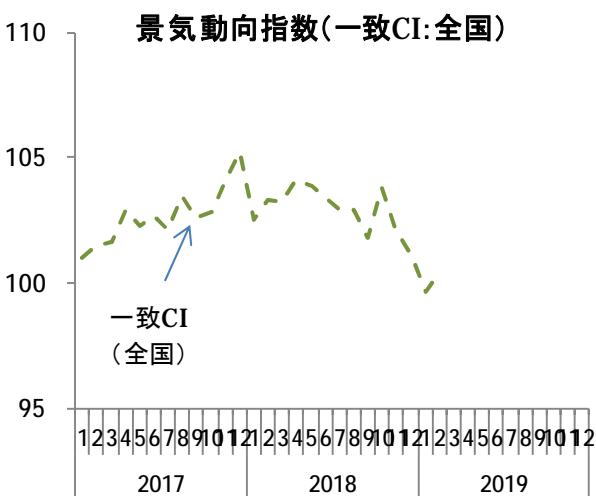
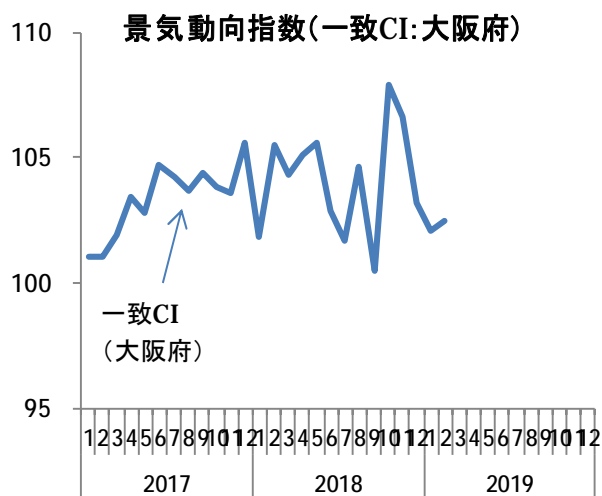
(参考)各機関の総括判断

	先々月(2019年3月公表分) (2019年1月指標中心)	先月(2019年4月公表分) (2019年2月指標中心)
大阪産業経済リサーチセンター 「大阪経済の情勢」	大阪経済は、緩やかに拡大している。	大阪経済は、一部に弱い動きがみられるが、緩やかに拡大している。
内閣府 「月例経済報告」	景気は、このところ輸出や生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している。	景気は、このところ輸出や生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している。
近畿経済産業局 「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに改善している。	近畿地域の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに改善している。
日本銀行大阪支店 「関西金融経済概況」	関西の景気は、緩やかな拡大を続けている。	関西の景気は、緩やかな拡大を続けている。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(2月)では、一致CIは上昇、先行CIは低下。大阪府(一致CI)では、主に「百貨店売場面積当たり販売額」、「所定外労働時間指数(製造業)」が上昇に寄与。全国(2月)の一致CI、先行CIはともに上昇。】



(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」

※ 先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

2015年=100

大阪府

	'19年1月	2月	3月
先行CI	105.1	P 104.3	
一致CI	102.1	P 102.5	

全国

	'19年1月	2月	3月
先行CI	96.3	99.6	
一致CI	99.6	100.4	

一致CIの個別系列の寄与度*(大阪府、2月速報)

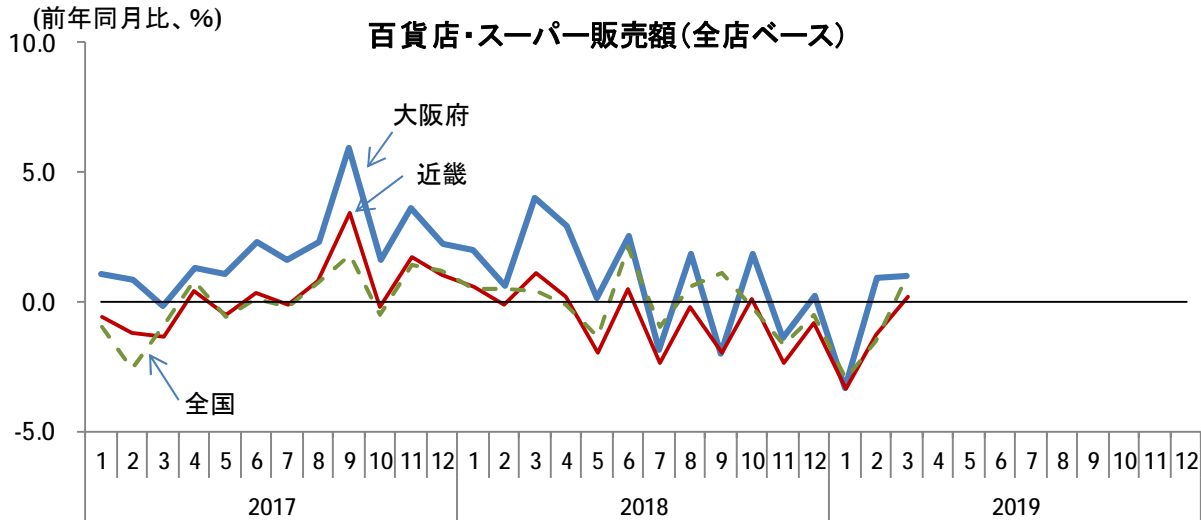
百貨店売場面積当たり販売額	大阪税関管内輸入通関額	製造工業生産指数	生産財出荷指数	人件費比率(製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間指数(製造業)
0.72	▲0.40	▲0.07	▲0.04	▲0.03	▲0.03	0.31

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は、やや弱含んでいる。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額(近畿)、家電販売額は増加。家計消費支出(近畿;2月)、新車販売台数は減少。

○百貨店・スーパー販売額(全店)【2ヶ月連続の増加。】



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

百貨店・スーパー販売額(全店)

		'19年1月	2月	3月
販売額(億円)	大阪府	1,519	1,368	P 1,559
前年比(%)	大阪府	▲3.3	0.9	P 1.0
	近畿	▲3.4	▲1.3	P 0.2
	全国	▲3.0	▲1.5	P 1.0

百貨店販売額(全店)

		'19年1月	2月	3月
前年比(%)	大阪府	▲3.3	4.3	P 2.6
	全国	▲4.9	▲2.2	P ▲1.5

スーパー販売額(全店)

		'19年1月	2月	3月
前年比(%)	大阪府	▲3.4	▲2.6	P ▲0.9
	全国	▲2.0	▲1.2	P 2.4

○コンビニエンスストア販売額(全店)【近畿は73ヶ月連続の増加。】

		'19年1月	2月	3月
販売額(億円)	近畿	1,432	1,362	P 1,525
前年比(%)	大阪府	4.1	7.1	P 3.2
	近畿	3.5	5.7	P 2.3
	全国	2.6	3.8	P 1.6

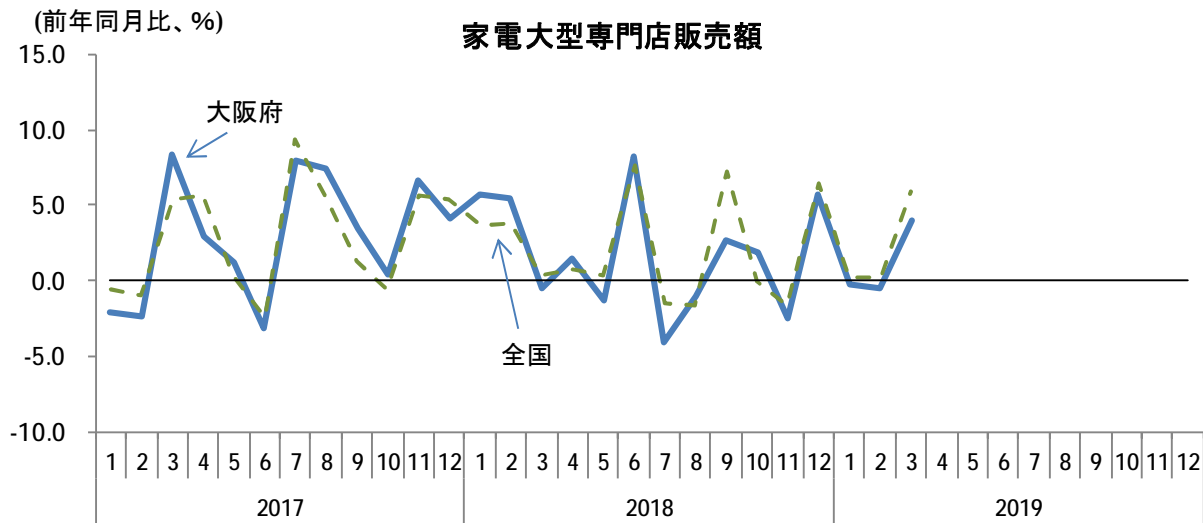
○家計消費支出【近畿(2月)は3ヶ月ぶりの減少。】

		'19年1月	2月	3月
円	近畿	290,858	255,091	
前年比(%)	近畿	5.7	▲2.6	
	全国	2.2	1.9	

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○家電販売額【3ヶ月ぶりの増加。】



(資料) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型専門店販売額(全店)

		'19年1月	2月	3月
前年比 (%)	大阪府	▲0.2	▲0.6	P 4.0
	全国	0.2	0.3	P 5.9

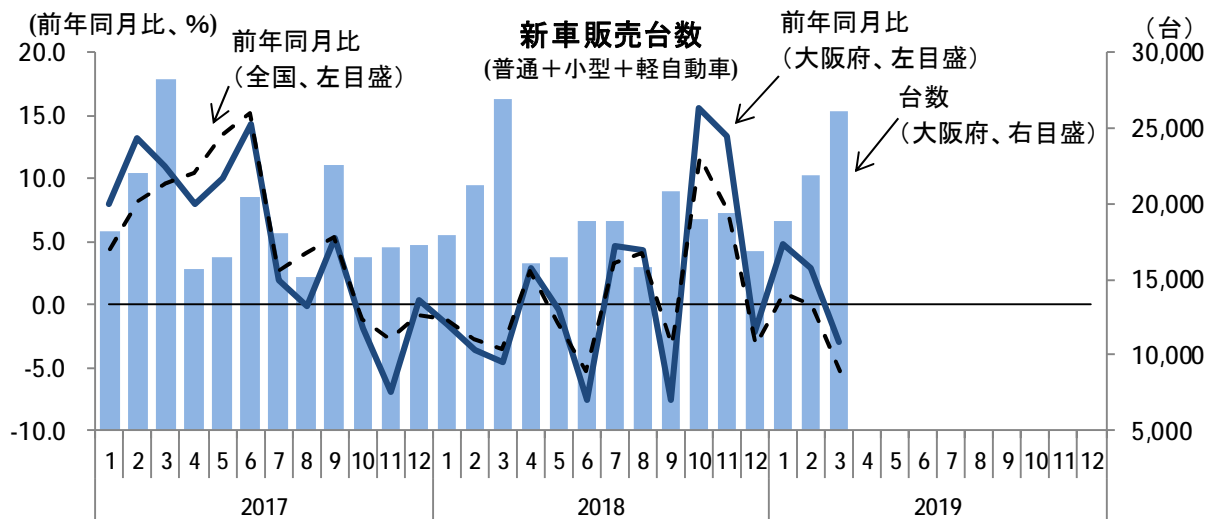
ドラッグストア販売額(全店)

		'19年1月	2月	3月
前年比 (%)	大阪府	▲1.3	▲0.6	P ▲0.4
	全国	4.9	4.4	P 5.4

ホームセンター販売額(全店)

		'19年1月	2月	3月
前年比 (%)	大阪府	0.9	4.7	P 3.4
	全国	▲2.0	▲1.4	P ▲1.5

○新車販売台数【前年同月比で3ヶ月ぶりの減少。】



(資料) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

		'19年1月	2月	3月
販売額(台)	大阪府	18,807	21,834	26,148
前年比 (%)	大阪府	4.8	2.9	▲3.0
	全国	0.9	▲0.1	▲5.3

車種別の増減

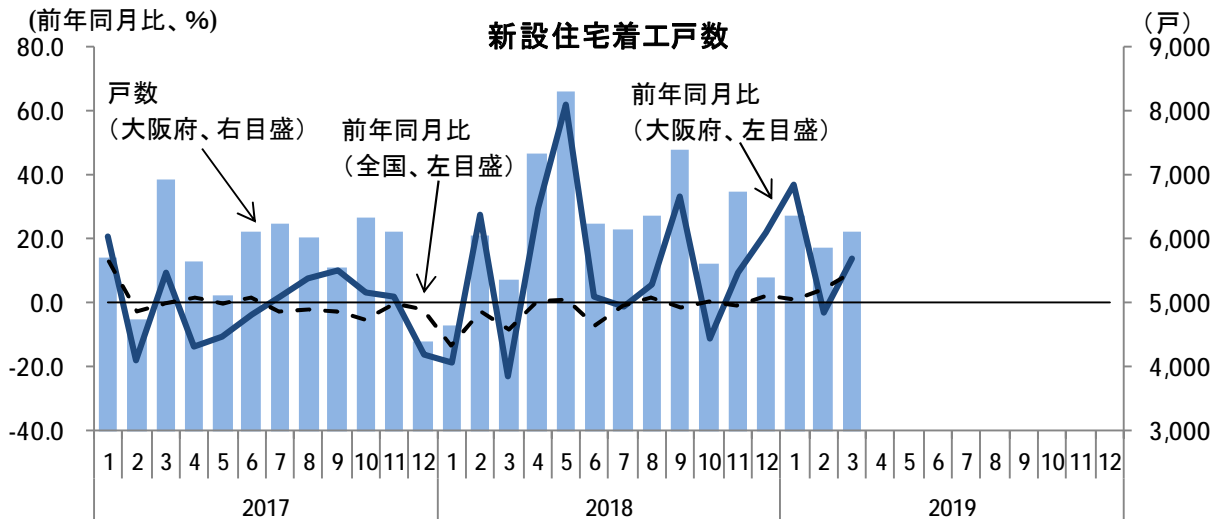
(大阪府、前年同月比(%)、3月)

普通車	小型車	軽自動車
▲0.7	▲4.3	▲5.4

[需要] 投資

投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資は増加、非居住用建設投資は減少。公共投資は減少。

○新設住宅着工戸数【前年同月比で2ヶ月ぶりの増加。】

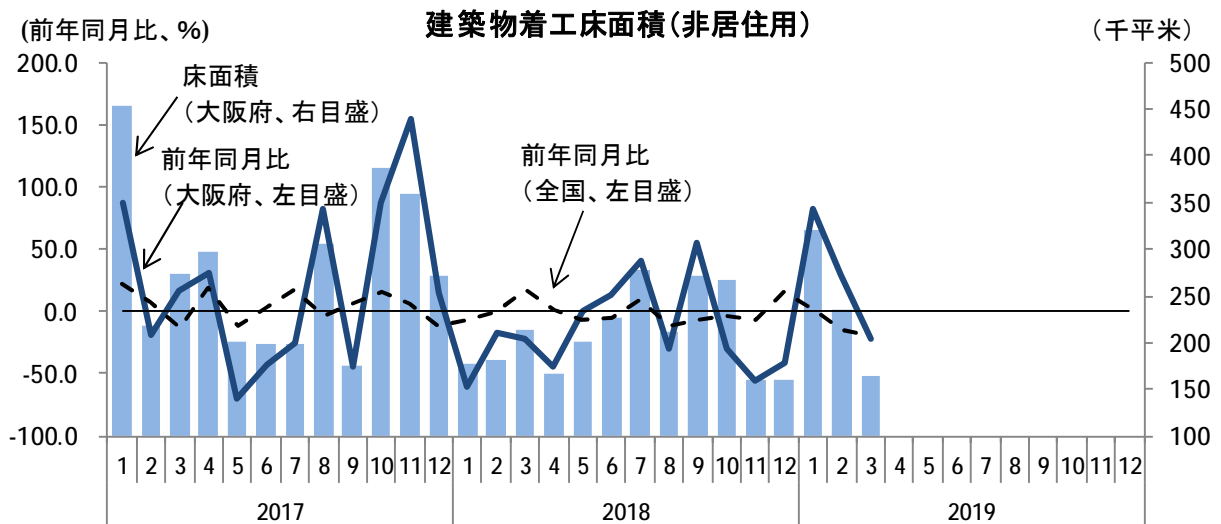


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		'19年1月	2月	3月
戸数	大阪府	6,380	5,869	6,120
前年比 (%)	大阪府	36.9	▲3.1	13.9
	全国	1.1	4.2	10.0

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%), 3月)		
持家	貸家	分譲
15.4	▲4.8	38.3

○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で3ヶ月ぶりの減少。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

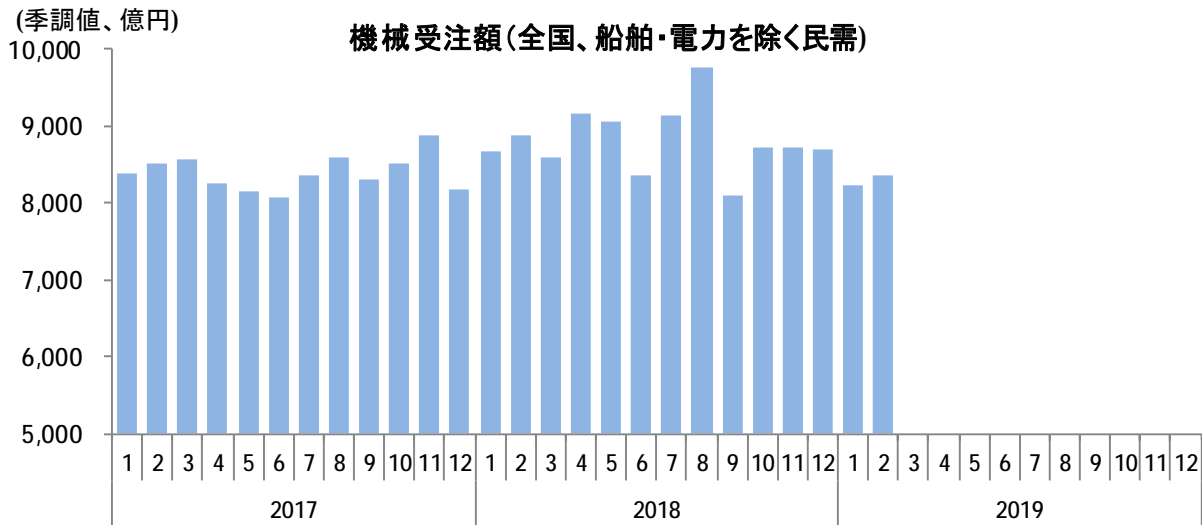
		'19年1月	2月	3月
千 m ²	大阪府	321	235	164
前年比 (%)	大阪府	82.4	29.5	▲22.8
	全国	1.0	▲15.1	▲19.3

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%), 3月)	
増加	卸売業・小売業(4.7)
減少	金融業・保険業(▲17.8)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

[需要] 投資

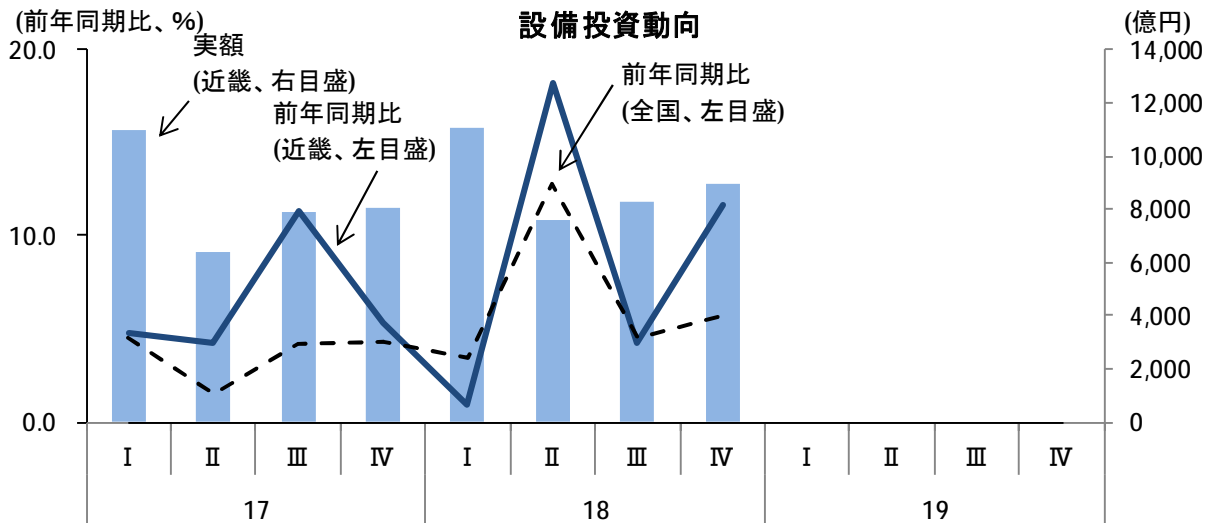
○機械受注額【2月(全国)は前月比で増加。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	'19年1月	2月	3月
全国(億円)	8,223	8,367	

○設備投資動向【10~12月期(近畿)は前年同期比で9期連続の増加。「製造業」、「非製造業」はともに増加。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		'18年4~6月	7~9月	10~12月
億円	近畿	7,587	8,258	8,954
前年同期比 (%)	近畿	18.2	4.3	11.7
	全国	23.5	6.0	13.7

○公共工事請負金額【3ヶ月ぶりの減少。】

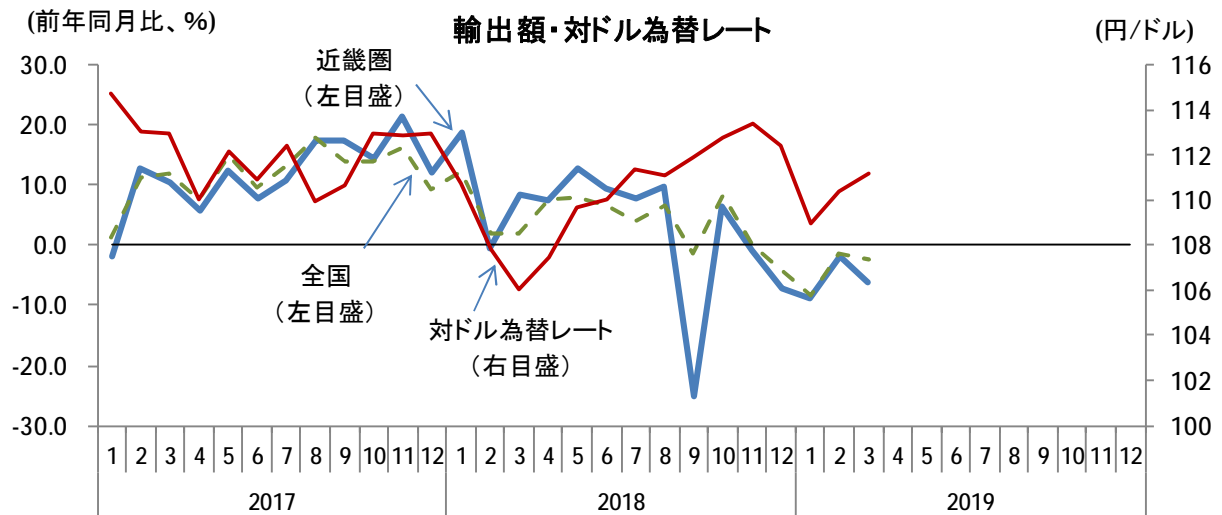
		'19年1月	2月	3月
億円	大阪府	274	297	267
前年比 (%)	大阪府	56.6	149.3	▲5.6
	全国	▲4.1	20.4	3.7

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

[需要] 貿易・観光

輸出は、弱含んでいる。輸出額は減少。主要国向けでは、アジア向け・中国向けで減少。輸入額は減少。

○輸出額【5ヶ月連続の減少。「科学光学機器」、「半導体等電子部品」などが減少。主要国・地域向けでは、アジア向け・中国向けで減少。】

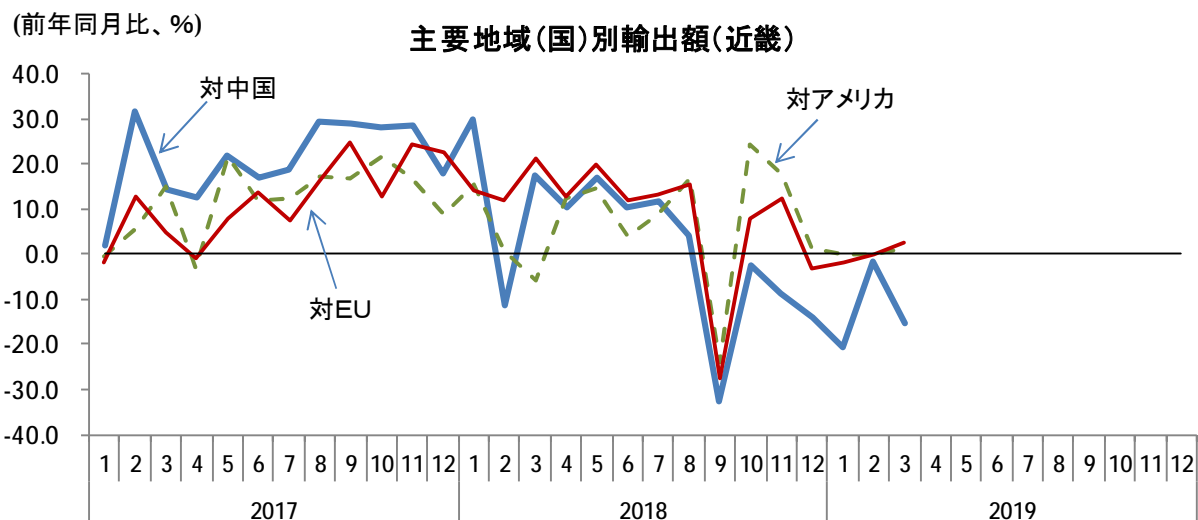


(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		'19年 1月	2月	3月
輸出額(億円)	近畿	11,799	13,200	P 15,001
前年比 (%)	近畿	▲8.9	▲1.9	P ▲6.3
	全国	▲8.4	▲1.2	P ▲2.4
為替レート(円/ドル)		108.95	110.36	111.21

品目別の主な増減 (近畿、前年同月から増減額順、3月)	
増加	コンデンサー、建設用・鉱山用機械
減少	科学光学機器、半導体等電子部品

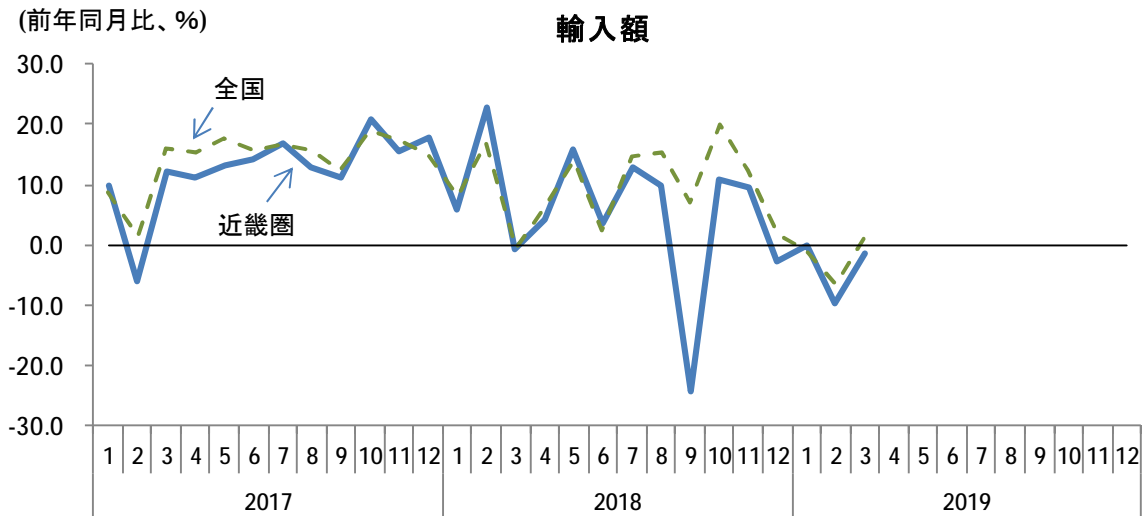


(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、3月)		
アジア(含む中国)	▲10.1	5ヶ月連続の減少
中国	▲15.4	7ヶ月連続の減少
EU	2.8	4ヶ月ぶりの増加
アメリカ	1.4	2ヶ月連続の増加

[需要] 貿易・観光

○輸入額【2ヶ月連続の減少。「原油及び粗油」、「天然ガス及び製造ガス」などが減少。】



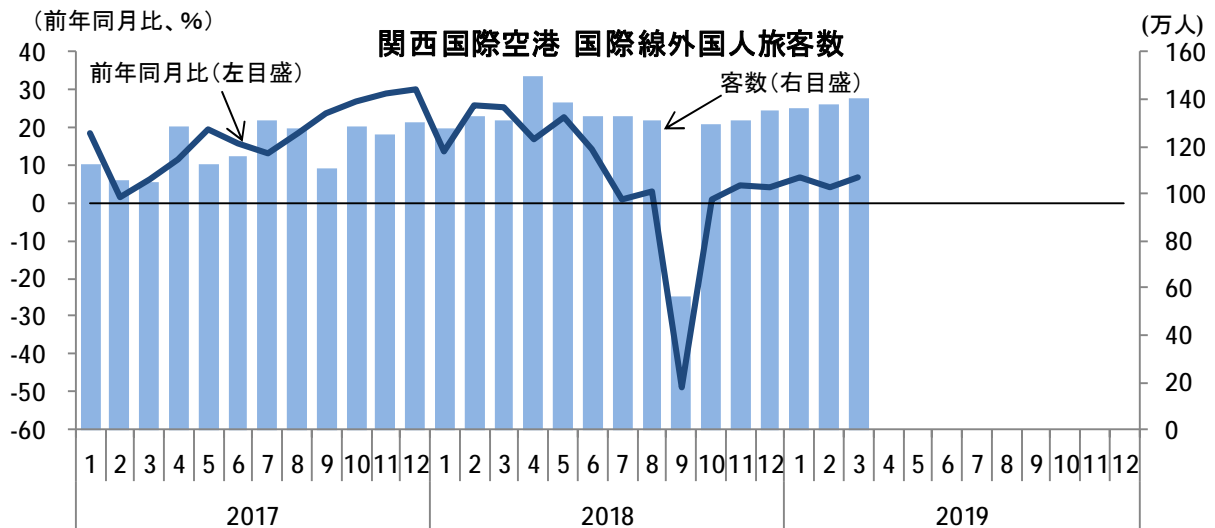
(資料)大阪税関「貿易統計」

		'19年1月	2月	3月	品目別の主な増減 (近畿、前年同月から増減額順、3月)	
輸入額(億円)	近畿	13,645	P 11,062	P 12,266	増加	衣類及び同附属品、医薬品
前年比 (%)	近畿	0.1	P ▲9.8	P ▲1.4	減少	原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス
	全国	▲0.8	P ▲6.6	P 1.1		

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%)、3月)

アジア(含む中国)	5.7	2ヶ月ぶりの増加
中国	5.0	2ヶ月ぶりの増加
EU	▲6.2	3ヶ月連続の減少
アメリカ	5.0	2ヶ月ぶりの増加

○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で6ヶ月連続の増加。】



(資料)関西エアポート(株)

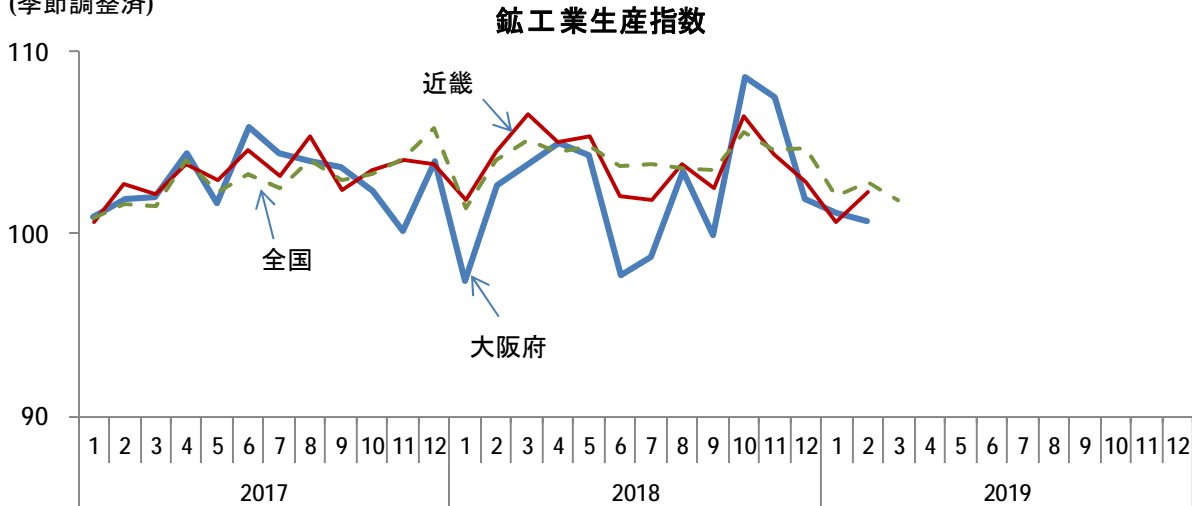
	'19年1月	2月	3月
万人	136.4	P 138.0	P 140.1
前年比(%)	6.6	P 4.1	P 6.9

[供給] 生産・企業活動

生産動向は、弱い動きが続く。大阪府(2月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(2月)は上昇、全国の生産(3月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。

○鉱工業生産指数【大阪府(2月)は4ヶ月連続の低下。「輸送機械」、「食料品」などが低下。近畿(2月、鉱工業)は4ヶ月ぶりの上昇。全国(3月、鉱工業)は2ヶ月ぶりの低下。】

(季節調整済)



(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

鉱工業生産指数

季調済	'19年1月	2月	3月
大阪府	101.1	P 100.7	
近畿	100.6	102.3	
全国	102.1	102.8	P 101.9

鉱工業出荷指数

季調済	'19年1月	2月	3月
大阪府	104.1	P 103.2	
近畿	101.2	100.8	
全国	100.6	102.2	P 101.6

生産指数における産業別の主な変動

(大阪府、前月比(%)、寄与度順、2月速報)

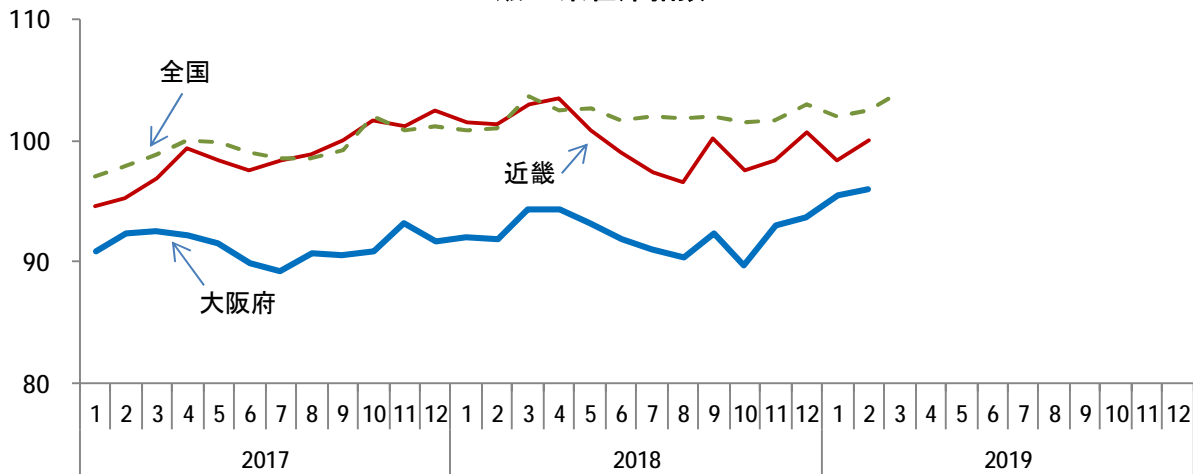
上昇	化学(7.6):アンモニア、界面活性剤
	金属製品(15.4):橋りょう、飲料用アルミニウム缶
低下	その他(4.9):ニット製繊維製品(下着・補整着・寝着類・靴下)、ステンレス製魔法瓶
	輸送機械(▲19.2):鉄道車両部品、鉄道車両 食料品(▲7.9):チョコレート、ビール・発泡酒 電気・情報通信機械(▲1.7):アーク溶接機、開閉制御装置

[供給] 生産・企業活動

○鉱工業在庫指数【大阪府(2月)は4ヶ月連続の上昇。「生産用機械」、「電気・情報通信機械」などが上昇。近畿(2月)は2ヶ月ぶりの上昇。全国(3月)は5ヶ月連続の低下。】

(季節調整済)

鉱工業在庫指数



(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

鉱工業在庫指数

季調済	'19年1月	2月	3月
大阪府	95.4	P 96.0	
近畿	98.4	100.0	
全国	102.0	102.4	P 104.0

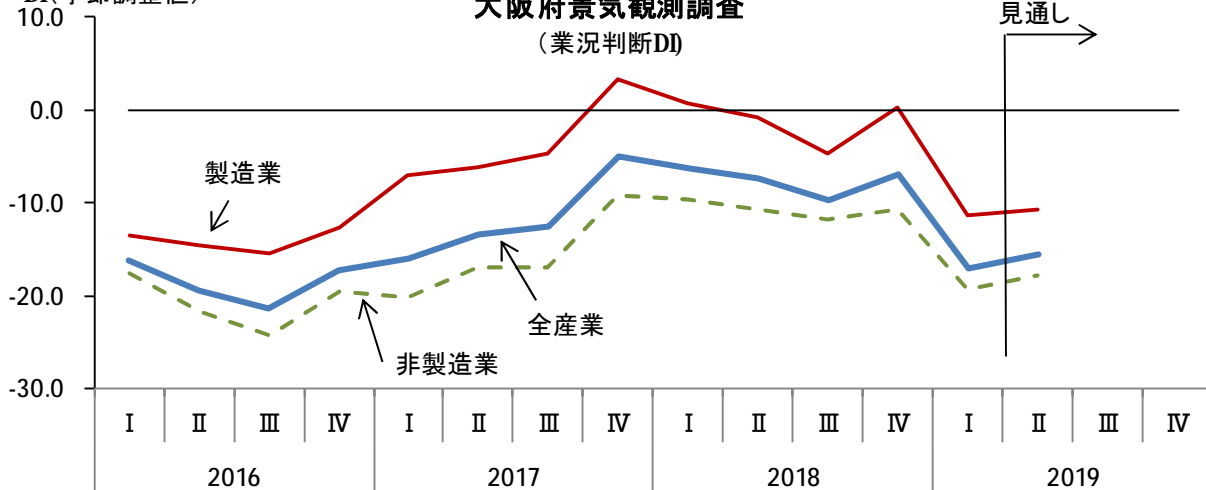
在庫指数における産業別の主な変動
(大阪府、前月比(%)、寄与度順、2月速報)

上昇	生産用機械(22.5): ショベル系掘削機械 電気・情報通信機械(3.6): セパレート型エアコン(室外)、陸上移動通信装置
低下	化学(▲4.1): アンモニア、ポリプロピレン 輸送機械(▲6.1): 小型乗用車

○企業の業況判断【1~3月期(全産業)は2期ぶりの悪化。】

DI(季節調整値)

大阪府景気観測調査
(業況判断DI)

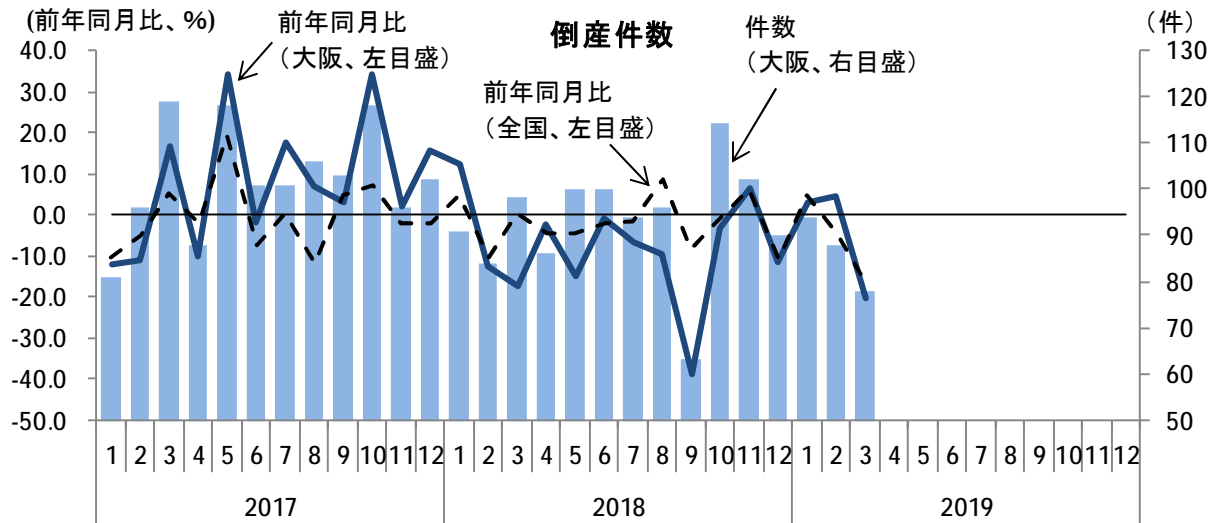


(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	'18年7~9月	10~12月	'19年1~3月	4~6月 (見込み)
製造業	▲4.6	0.3	▲11.4	▲10.8
非製造業	▲11.8	▲10.8	▲19.4	▲17.8
全産業	▲9.8	▲7.0	▲17.1	▲15.5

[供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で3ヶ月ぶりの減少(改善)、負債金額は前年同月比で2ヶ月ぶりの減少(改善)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		'19年1月	2月	3月
件	大阪府	94	88	78
前年比 (%)	大阪府	3.2	4.7	▲20.4
	全国	4.8	▲4.5	▲16.0

負債金額

		'19年1月	2月	3月
億円	大阪府	71	1,085	92
前年比 (%)	大阪府	▲37.0	812.1	▲51.9
	全国	61.0	117.3	▲26.8

主要業種の倒産件数(大阪府)

	'19年1月	2月	3月
建設業	14	17	11
製造業	13	7	16
卸売業	14	12	11
小売業	5	13	11
サービス業他	34	34	23

主な倒産(大阪府、3月)

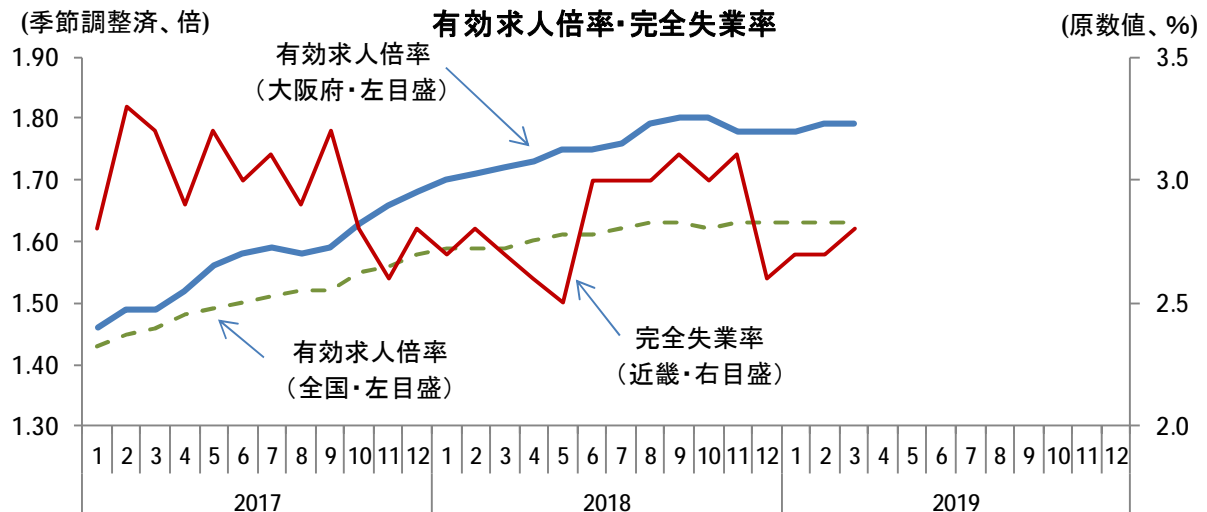
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
蒲鉾原料ほか卸	1,291	その他
鋼構造物工事	1,100	売掛金等回収難
金属プレス加工	700	過小資本
管工事	700	既往のシワ寄せ
有機顔料製造販売	418	販売不振

[供給] 雇用

雇用は、改善している。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率は前月から横ばい、新規求人倍率は低下。所定外労働時間(2月)は低下。

○完全失業率【近畿は4ヶ月ぶりの上昇(悪化)。】

有効求人倍率【大阪は前月から横ばい】、新規求人倍率【大阪は3ヶ月ぶりの低下】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	'19年1月	2月	3月
%	2.7	2.7	2.8
前年同月差	0.0	▲0.1	0.1

完全失業率(全国、季節調整値)

	'19年1月	2月	3月
%	2.5	2.3	2.5
前月差	0.1	▲0.2	0.2

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	'18年4~6月	7~9月	10~12月
大阪府	2.8	3.4	3.6
近畿	2.7	3.0	2.9
全国	2.5	2.5	2.4

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	'19年1月	2月	3月
大阪府	1.78	1.79	1.79
全国	1.63	1.63	1.63

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	'19年1月	2月	3月
大阪府	3.01	3.02	2.77
全国	2.48	2.50	2.42

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」 ※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減
(大阪府、前年同月比(%))

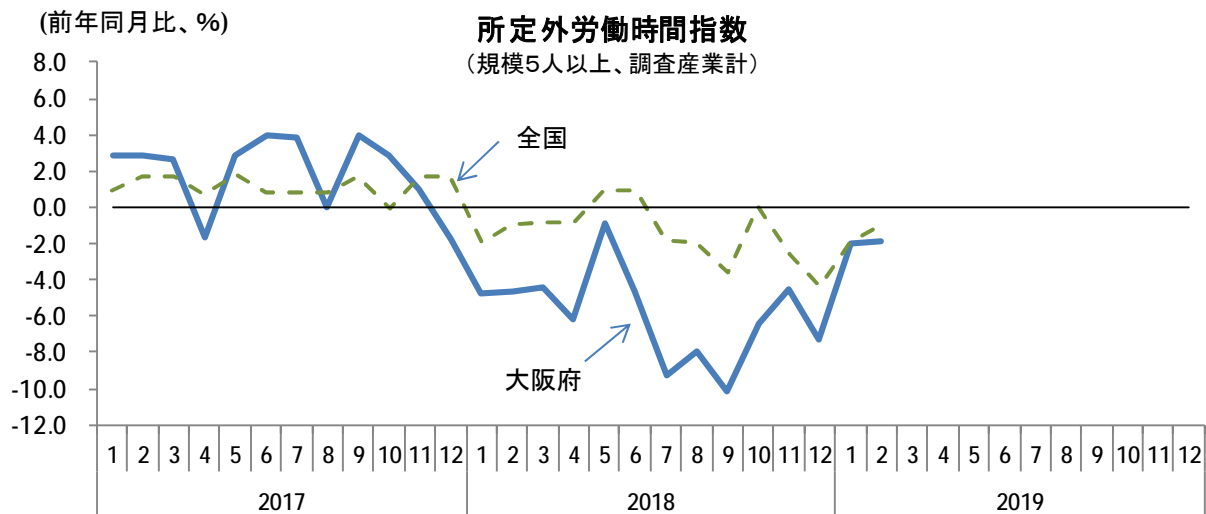
	'19年1月	2月	3月
産業計	6.1	6.2	▲7.5
建設業	21.0	15.1	0.8
製造業	3.1	1.2	▲3.8
卸売業、小売業	▲2.4	5.5	▲15.4
宿泊業、 飲食サービス業	▲3.9	24.6	4.1
医療、福祉	11.6	▲2.0	▲6.7

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

[供給] 雇用

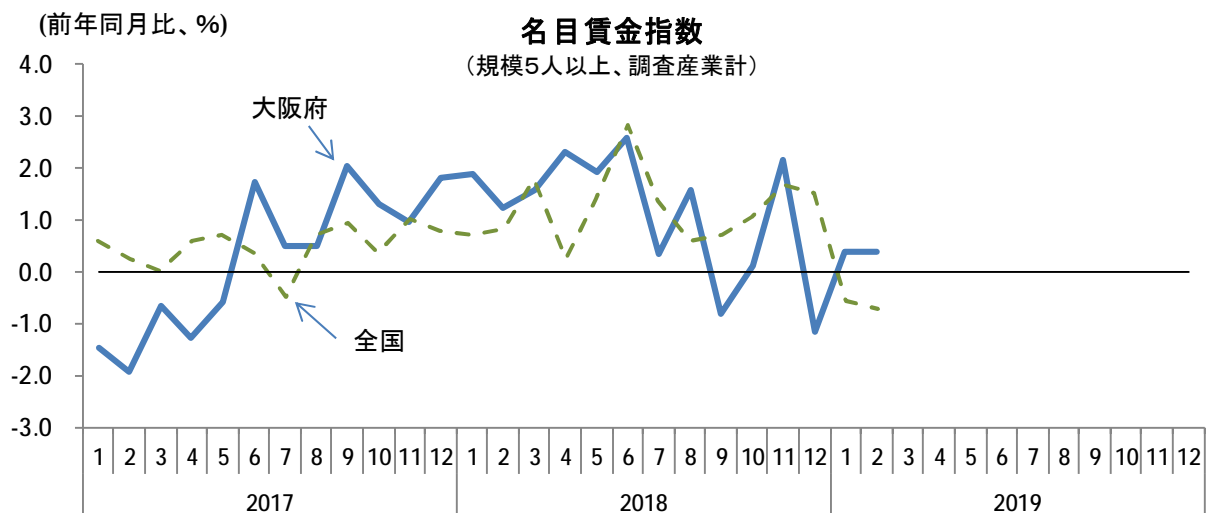
○所定外労働時間指数【大阪府(2月)は15ヶ月連続の減少。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(2015年=100)による。

		'19年1月	2月	3月
指数	大阪府	92.4	97.1	
前年比 (%)	大阪府	▲2.0	▲1.9	
	全国	▲1.9	▲0.9	

○名目賃金指数【大阪府(2月)は2ヶ月連続の増加。】



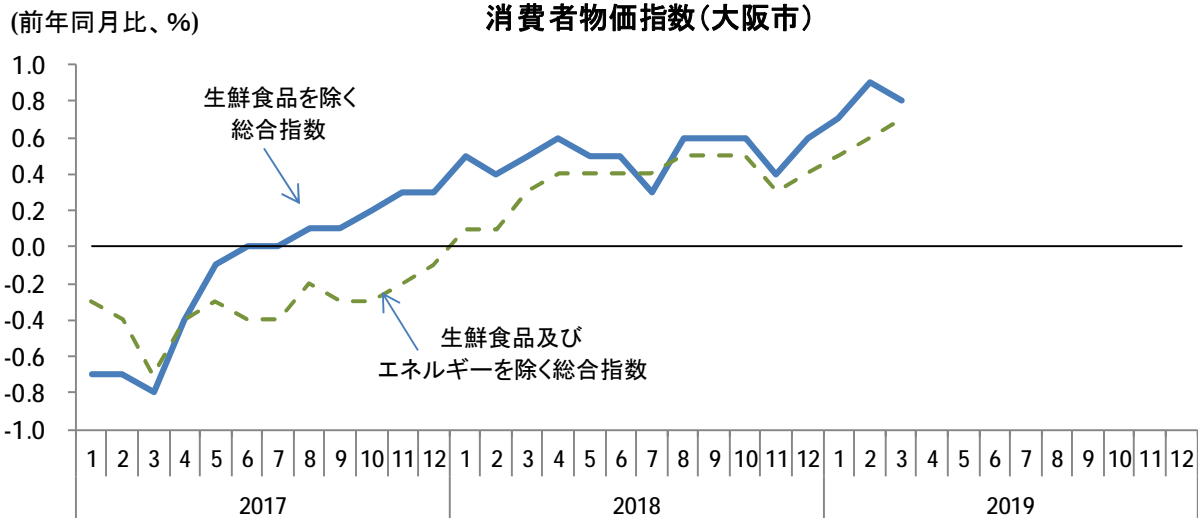
(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は名目賃金指数(2015年=100)による。

		'19年1月	2月	3月
現金給与総額(円)	大阪府	274,160	273,767	
前年比 (%)	大阪府	0.4	0.4	
	全国	▲0.6	▲0.7	

※前年比は名目賃金指数(2015年=100)による。

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は20ヶ月連続の上昇。「光熱・水道」、「教養娯楽」が上昇に寄与。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は15ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」

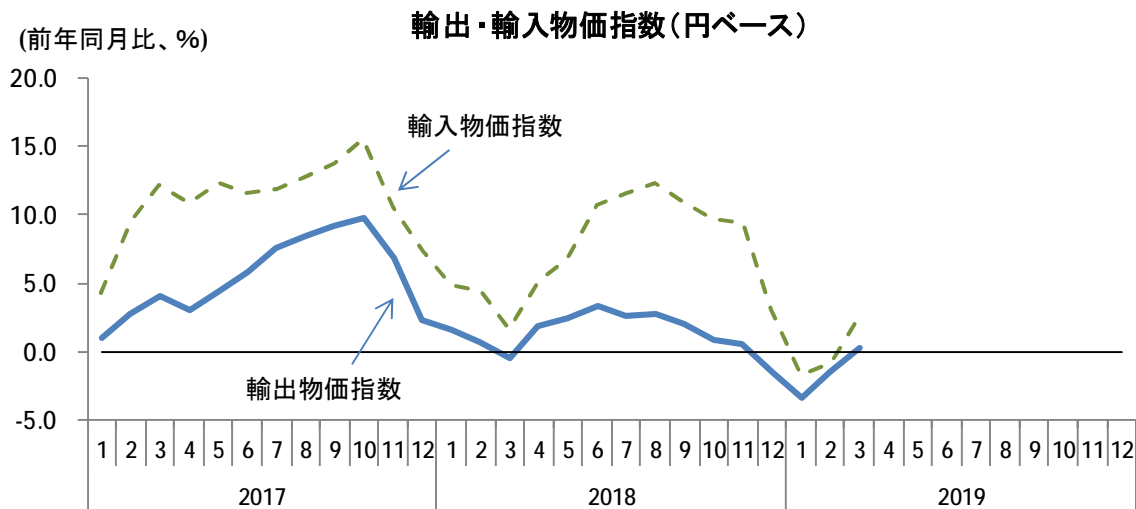
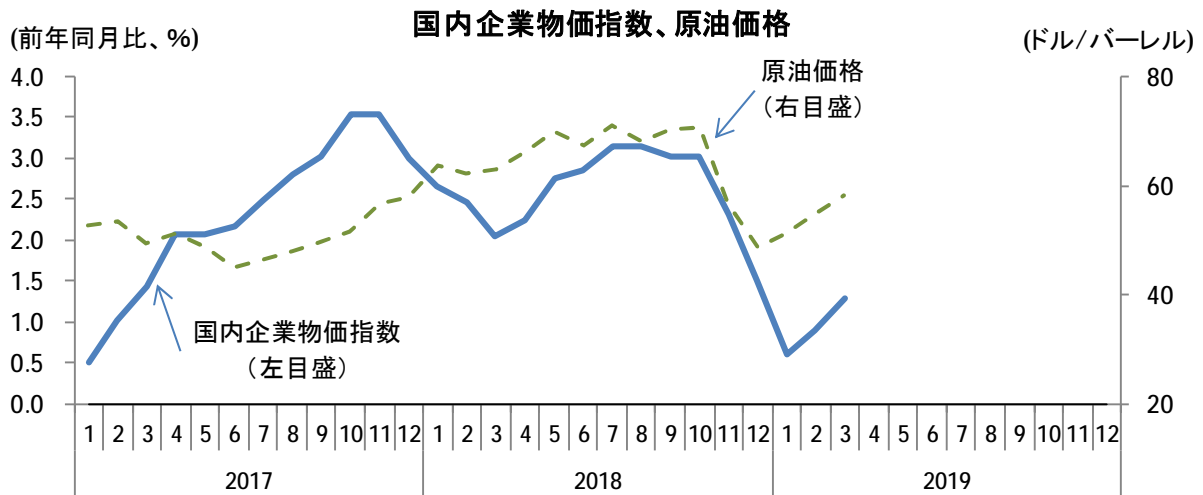
※2015年=100。

総合指数		'19年1月	2月	3月
指数	大阪市	100.8	100.9	P 101.0
前年比 (%)	大阪市	0.1	0.3	P 0.7
	全国	0.2	0.2	0.5
生鮮食品を除く総合指数		'19年1月	2月	3月
指数	大阪市	100.3	100.5	P 100.6
前年比 (%)	大阪市	0.7	0.9	P 0.8
	全国	0.8	0.7	0.8
生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数		'19年1月	2月	3月
指数	大阪市	100.5	100.7	P 100.8
前年比 (%)	大阪市	0.5	0.6	P 0.7
	全国	0.4	0.4	0.4

総合指数において主に変動した分類 (大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、3月速報)	
上昇	光熱・水道(3.6): ガス代(都市ガス代)、他の光熱(灯油)
	教養娯楽(1.4): 書籍・他の印刷物(新聞代(全国紙)、週刊誌、月刊誌)、教養娯楽用耐久財(プリンタ、テレビ、パソコン(ノート型))
	食料(0.4): 果物(いちご、果物缶詰、キウイフルーツ)、飲料(炭酸飲料、インスタントコーヒー、コーヒー飲料 A)
低下	交通・通信(▲0.6): 通信(携帯電話機、通信料(携帯電話))

[その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数は上昇。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」、IMF「Primary Commodity Prices」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は2015年=100。

企業物価指数

	'19年1月	2月	3月
国内企業物価指数	100.9	101.2	P 101.5
輸出物価指数	93.8	94.6	P 95.4
輸入物価指数	94.9	95.8	P 97.3

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。2015年=100。

原油価格(WTI)

	'19年1月	2月	3月
ドル/バーレル	51.36	54.99	58.15

国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目(3月速報、寄与度(%))

石油・石炭製品 (0.18) : ガソリン、軽油、A重油
非鉄金属 (0.04) : 銅地金、銅荒引線、黄銅伸銅品
スクラップ類 (0.03) : 鉄くず、銅・同合金くず
生産用機器 (▲0.01) : ロボット、プレス機械、包装・荷造機械
電子部品・デバイス (▲0.01) : プリント配線板、モス型メモリ集積回路